



華足寺 (東和)

東和町鱒淵地区にある華足寺は、800年ごろ、坂上田村麻呂によって建立されたと伝えられています。写真の山門は、寛政11年(1799)伊達9代藩主周宗公の祈願により造られ、2百年近くの歳月を経ています。屋根はこれまで数回修理されていますが、そのほかは建築当時の姿をどどめ、屋根には魔よけの龍を配し、右に「増長天」、左に「多聞天」、2階に十二支の守り「本尊八神像」を安置しており、宮城県文化財に指定されています。また、寺内には奥州7観音の一つ、

【所在地】登米市東和町米川字小山下2番地
【問い合わせ】華足寺 ☎ 0220 (45) 1055

奥州33霊場の第15番札所として有名な「馬頭観音堂」があります。本格的な仏堂建築で、江戸中・後期のこの地方の建築様式の中では貴重な建物であり、堂の内外には江戸時代からの絵馬が奉納されています。最近では動物を慈しむ観音様でもあるということで信仰を集め、ペットの葬祭場も併設されています。初夏を迎えると、新緑に囲まれた山門が美しく映える季節になります。山門まで続く緩やかな坂道をゆっくりと散策してみてもいいのではないでしょうか。

歴史博物館

広報ミニ展示室 24

= 武器に見られる文様① 巴紋 =



巴紋は和鏡などにもみられます

武器だけではなく家紋、衣類などさまざまなシーンで見られる巴紋は、日本だけではなくアジアに広く見られる文様の一つです。形が弓を射るとき、手首に巻いた鞆という道具に似ていたため、「鞆の絵」が転じて「ともえ」紋と称したといわれています。紋のルーツのほか、遺跡から出土する勾玉に似ているといわれ、蛇のとぐろ、雷光なども考えられているようです。また、水の渦巻く形ともいわれており、瓦に見られる巴紋は防火の意味が込められています。



平筒沼ふれあい公園 桜まつり

600本の桜が皆さんの来園をお待ちしています。期間中は午後6時から9時30分までふれあい橋がライトアップされ、水面に映る桜並木が幻想的な空間を演出します

期間：平成20年4月12日(土)～27日(日)
場所：平筒沼ふれあい公園

期間中イベント

- ◆ 宵まつり 【日時】 4月19日(土) ①午後2時～ ②午後6時～
- ◆ 本まつり 【日時】 4月20日(日) ①午後2時～ ②午後6時～

◎場所 平筒沼youyou館 多目的ホール

◎内容 特設ステージで地元団体による歌謡・舞踊ショーなど

※園内には子ども用の遊具があるほか、遊歩道での散策もできます

【問い合わせ】 米山総合支所地域生活課 ☎ 0220 (55) 2111
豊里総合支所地域生活課 ☎ 0225 (76) 4111



「モバイルとめ」もご利用ください。
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>